

# 平成30年度全国中学校体育大会 第49回全国中学校柔道大会要項

- 1 目 的** この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く柔道実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主 催** (公財)日本中学校体育連盟 (公財)全日本柔道連盟 広島県教育委員会 広島市教育委員会
- 3 主 管** 中国中学校体育連盟 広島県中学校体育連盟 広島県柔道連盟 広島市中学校体育連盟
- 4 後 援 (申請中)** スポーツ庁 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会 全国市町村教育委員会連合会 (公社)日本PTA全国協議会 日本私立中学高等学校連合会 NHK 全国新聞社事業協議会 朝日新聞社 毎日新聞社 (公財)講道館 中国柔道連盟 広島県 広島市 広島県市町教育委員会連合会 広島県公立中学校長会 広島市公立中学校長会 (公財)広島県体育協会 (公財)広島市スポーツ協会 広島県PTA連合会 広島市PTA協議会 (公財)久保スポーツ振興基金 中国新聞社
- 5 会 期** 平成30年8月17日(金)～20日(月)
- |        |       |                |
|--------|-------|----------------|
| 17日(金) | 開会式   | 12:00～12:30    |
|        | 女子団体戦 | 13:00～         |
| 18日(土) | 男子団体戦 | 9:30～          |
| 19日(日) | 女子個人戦 | 9:00～          |
| 20日(月) | 男子個人戦 | 9:00～          |
|        | 閉会式   | 17:15～17:30 予定 |

場所 日	広島県立総合体育館 大アリーナ	広島県立総合体育館 小アリーナ	広島県立総合体育館 大アリーナ1階入口前
	競	技	計量及び柔道衣点検
16日 (木)	12:00 開場(武道場)		9:00～12:00 運営役員 12:00～13:00 来賓・役員 都道府県委員長 12:00～16:00 選手・監督
17日 (金)	9:00 開場(武道場) 8:00 開場(試合会場)		8:10～ 来賓・役員 9:00～15:00 選手・監督 ※団体戦出場校は、受付を済ませ、開会式に必ず参加すること。 ※個人戦出場者は、選手・監督ともに受付を済ませ、時間内に必ず計量・柔道衣点検を受けること。
	10:10～10:40 審判会議 10:50～11:20 監督会議	「広島県立総合体育館中会議室」 「広島県立総合体育館大会議室」	
	12:00～12:40 開会式 13:00～17:00 【女子団体戦】 準決勝戦終了後 投の形演武 17:15～17:30 女子団体戦表彰式	【男子団体戦出場者】 14:00～14:50 非公式計量 15:00～16:00 公式計量・柔道衣点検	
18日 (土)	7:30 開場(武道場) 8:00 開場(試合会場) 8:50～9:10 審判打合せ		8:10～ 来賓・役員 9:00～15:00 選手・監督
	9:30～16:30 【男子団体戦】 16:45～17:00 男子団体戦表彰式	【女子個人戦出場者】 ○40・44・48・52kg級 8:30～9:15 非公式計量 9:15～10:15 公式計量・柔道衣点検 ○57・63・70・70kg超級 10:30～11:15 非公式計量 11:15～12:15 公式計量・柔道衣点検	
19日 (日)	7:30 開場(武道場) 8:00 開場(試合会場) 8:20～8:40 審判打合せ		8:10～ 来賓・役員 9:00～15:00 選手・監督
	9:00～17:00 【女子個人戦】 17:15～17:30 女子個人戦表彰式	【男子個人戦出場者】 ○50・55・60・66kg級 8:30～9:15 非公式計量 9:15～10:15 公式計量・柔道衣点検 ○73・81・90・90kg超級 10:30～11:15 非公式計量 11:15～12:15 公式計量・柔道衣点検	
20日 (月)	7:30 開場(武道場) 8:00 開場(試合会場) 8:20～8:40 審判打合せ		7:55～ 来賓・役員
	9:00～17:00 【男子個人戦】 17:15～17:30 男子個人戦表彰式 ／閉会式		

6 会 場 『広島県立総合体育館』 〒730-0011 広島県広島市中区基町4番1号  
TEL (082) 228-1111 FAX (082) 228-4992

- 7 参加資格
- (1) 参加者は、各都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、校長及び都道府県中学校体育連盟会長が参加を認めた1校単位で編成されたチーム及び個人とする。
  - (2) 年齢は、平成15年(2003年)4月2日以降に生まれた生徒に限る。
  - (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、平成30年6月30日までに各都道府県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
  - (4) 開催地は団体男女各2チーム・個人男女各階級2名の参加を認める。
  - (5) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全競技を通じて、1人1回とする。
  - (6) 参加資格の特例は次の通りとする。
    - ① 学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
    - ② 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
      - ア 全国大会の参加を認める条件
        - (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
        - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が、我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
        - (ウ) 参加を希望する学校においては、運動部活動が教育活動の一環として、日常的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
      - イ 全国大会に参加した場合に守るべき条件
        - (ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
        - (イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員・部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
        - (ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
  - (7) 個人情報情報の取扱い(利用目的)

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。
- 8 参加料
- (1) 参加選手1人につき、3,000円とする。
  - (2) 参加申込締切以降の参加取り消しや不出場の場合、参加料の返金は行わない。
- 9 引率・監督
- (1) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員(非常勤講師は除く)・部活動指導員※1とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。  
(※1→ここでいう部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者)
  - (2) 全国大会では外部指導者(コーチ)をおくことができる。外部指導者(コーチ)は出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者(コーチ)確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者(コーチ)にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者にはなれない。コーチとは当該校の監督でない教職員〔内部コーチ=指導者〕・それ以外〔外部コーチ=指導者〕とする。日本中体連では「外部指導者(コーチ)」と定義づけている。1校につき1名を認めるので、所定の用紙を用いて届け出ること。【様式5】  
外部指導者(コーチ)の条件とは次の通りである。
    - ① 当該校の校長が認めた者。
    - ② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者。
    - ③ 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
    - ④ 中学校の教職員でない者。
    - ⑤ 審判員に準じた服装をすること。※ 大会運営上、支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場させることもある。  
※ 同一校で男女とも出場権を得ているチームは、それぞれに外部指導者(コーチ)をおくことができる。
  - (3) 引率・監督・コーチは、審判員に準じた服装をすること。
  - (4) 引率者の特例  
全国中学校体育大会の個人競技への参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できず校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が引率者として承認した外部指導者(コーチ)の引率を認める。  
(別紙「全国中学校体育大会引率細則」参照)

- (5) (公財)日本中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。
- (6) 団体戦出場校の監督は、指定時間までに必ず受付を済ませること。
- (7) 個人戦出場者の監督は、計量までに必ず受付を済ませること。

10 参加数 (1) 団体戦は、各都道府県1チーム、開催地1チームの合計48チームとする。

北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	合計
1	6	8	5	4	6	5	4	8	1	48

- ① 団体戦のチームは、1校単位で編成したチームとする。
- ② 男子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。
- ③ 女子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。
- (2) 個人戦は男女とも8階級とし、各階級とも各都道府県1名・開催地1名で、合計48名とする。また、体重区分は次の通りとする。

① 男子	50kg級 (50kg以下)	55kg級 (50kg超～55kg以下)
	60kg級 (55kg超～60kg以下)	66kg級 (60kg超～66kg以下)
	73kg級 (66kg超～73kg以下)	81kg級 (73kg超～81kg以下)
	90kg級 (81kg超～90kg以下)	90kg超級 (90kg超)
② 女子	40kg級 (40kg以下)	44kg級 (40kg超～44kg以下)
	48kg級 (44kg超～48kg以下)	52kg級 (48kg超～52kg以下)
	57kg級 (52kg超～57kg以下)	63kg級 (57kg超～63kg以下)
	70kg級 (63kg超～70kg以下)	70kg超級 (70kg超)

- 11 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018年4月1日施行のルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。
- (2) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (3) 柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りも可とする。

- 12 競技方法 (1) 団体戦
- ① 男女とも、参加48チームを3チームずつ16組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位16チームによって決勝トーナメント方式を行う。
- ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- ※ 選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」

- ⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
- イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
- ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
- エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
- オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
- カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回を行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。)
- ⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数による。
- イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
- ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

- ⑨ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦（ゴールドデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- ⑩ 代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

(2) 個人戦

- ① 男女とも、各階級48名までによるトーナメント方式で行う。
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールドデンスコア）は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールドデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールドデンスコア）で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- ④ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
- ⑤ 選手には、監督・コーチのどちらか1名は付き添うこと。

13 計量・柔道衣点検

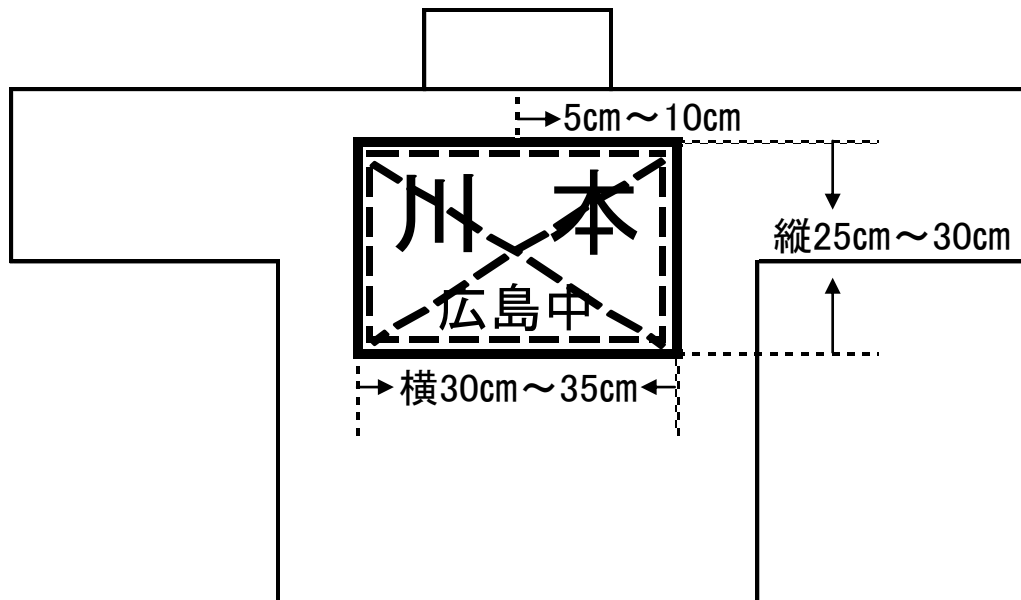
(1) 【計量】

- ① 公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行う。
- ② 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
- ③ 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。但し、特別な事情（公共交通機関の乱れ等）がある場合は、あらかじめ各都道府県委員長を通じて大会事務局に連絡すること。
- ④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
  - ア 団体戦
    - (ア) チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。
    - (イ) 公式計量には監督が立ち会うこと。
      - ※ 男子の計量についてはコーチの立ち会いも認める。
    - (ウ) 順番の入れ替え等があった場合は通知する。
  - イ 個人戦
    - (ア) 定められた階級の体重区分内にはないものは失格とする。
    - (イ) 監督は計量場所には入れない。（指定場所にて待機すること。）
      - ※ 別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

(2) 【柔道衣点検】

- ① 公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。
- ② (公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。（新規規格の赤色のマーキングのもの）
- ③ 柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
  - ア 布地は白（晒、太綾）とする。
  - イ サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
  - ウ 名字（姓）は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
  - エ 書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。
  - オ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
  - カ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ④ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
  - ※ Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- ⑤ 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。
- ⑥ 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

【例】



## 14 表彰

- (1) 団体戦
- ① 優勝校には、賞状・優勝旗・優勝杯・トロフィー・メダルを授与する。優勝旗・優勝杯は持ち回りとし、翌年の大会で返却し、レプリカ・バナーを授与する。
  - ② 準優勝校・第3位校（2チーム）には、賞状・トロフィー・メダルを授与する。
  - ③ 第5位校（4チーム）には、賞状を授与する。
  - ④ 第5位までの入賞を除く決勝トーナメント進出校（8チーム）に賞状を授与する。
- (2) 個人戦
- ① 各階級第1位～第3位までの4名には、賞状・トロフィー・メダルを授与する。
  - ② 第5位の4名に賞状を授与する。

## 15 参加申込

- (1) 申込方法
- ① 参加校及び参加選手は、別紙申込みの手順により、大会申込 Web ページ（下記）に必要事項を入力し、必要書類（入力したものを印刷して1部）及び参加費をそろえ、各都道府県委員長に提出のこと。  
※ 申し込みシステムWebページ <http://ncj.s151.xrea.com/entry/>  
※ 参加費は、各都道府県で一括して所定の口座に納付すること。
  - ② 各都道府県委員長は、下記書類をそろえ、第49回全国中学校柔道大会事務局まで送付すること。  
ア 出場校・出場選手正式申込用紙 1部（学校長と中体連会長実印があるもの）  
イ コーチ確認書（学校毎に必要な部数）【様式5】（コーチがいる学校のみ、内部・外部指導者すべて提出）  
ウ 引率者・監督者報告書【様式6】（必要な場合のみ）  
エ 選手・監督・コーチIDカード原本（写真貼付済みのもの）  
オ プログラムデータ【様式15】（E-mail 添付送信及び印刷原本）  
カ 都道府県委員長・平成31～32年度開催地視察員・見学者用IDカード原本（写真貼付済みのもの）  
キ 参加全選手分参加費振込確認書（金融機関利用明細書添付・コピー可）  
★申込期限 平成30年8月1日（水）  
※期限厳守のこと。手続き上の不備は、全て各都道府県委員長対応となる。

(2) 申込み先及び連絡先

〒739-2612 広島県東広島市黒瀬町丸山82番地1（東広島市立黒瀬中学校内） 平成30年度全国中学校体育大会広島県実行委員会 柔道開催委員会事務局 事務局長 佐伯 卓哉 TEL 事務局直通（080）4363-2650 E-mail: <a href="mailto:zenchu2018@hi3.enjoy.ne.jp">zenchu2018@hi3.enjoy.ne.jp</a> 公式 HP URL <a href="http://www.zencyuhiroshimajudo.com">http://www.zencyuhiroshimajudo.com</a>
---

(3) 振込先

振込先口座	振込先口座	広島銀行	安支店（店番039）
	普通口座	3255610	
口座名義	平成30年度全国中学校体育大会広島県実行委員会 柔道開催委員会 委員長 木下 健一（きのした けんいち）		

- (4) 申込み必要書類 ※詳細は別紙『申込要項』参照のこと。
- ① 第49回全国中学校柔道大会申込書 1部（15-(1)①大会申込Webページ入力したもの）
  - ② 団体戦出場校集合写真 1枚（監督・全選手を撮影したものを委員長に提出）
  - ③ 選手・監督・コーチIDカード 各1枚（写真貼付済みのもの）
  - ④ コーチ確認書 1部（必要に応じた部数）【様式5】
  - ⑤ 引率者・監督者報告書 1部（必要に応じて）【様式6】
  - ⑥ 大会参加費 1人につき 3,000円
- (5) (公財)全日本柔道連盟登録者は、登録番号を申込書に記入すること。  
(6) 各ブロック長は、ブロック大会終了後、直ちに（8月10日（金）までに必ず）ブロック順位を所定の様式に記入して、E-mail にて報告すること。  
E-mail: [zenchu2018@hi3.enjoy.ne.jp](mailto:zenchu2018@hi3.enjoy.ne.jp)

## 16 諸会議

- (1) 審判会議 8月17日（金）10:10～10:40 『広島県立総合体育館中会議室』
- (2) 監督会議 8月17日（金）10:50～11:20 『広島県立総合体育館大会議室』
- (3) (公財)日本中学校体育連盟柔道競技部会  
8月19日（日）17:30～18:30 『広島県立総合体育館小会議室』

17 宿 泊

- (1) 宿泊については別紙『宿泊要項』による。適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。  
※ 指定外の宿泊施設の利用は認めない。
- (2) 8月3日（金）までに申し込むこと。また、問合せ等も直接下記に行うこと。
- (3) 申込先・問合せ先

東武トップツアーズ（株） 広島支店  
 「第49回全国中学校柔道大会 宿泊センター」  
 〒730-0035  
 広島県広島市中区本通6番1号 明治安田生命広島本通ビル6F  
 TEL（082）545-1090 FAX（082）542-1333  
 担当：岡本、八尾

18 その他

- (1) 選手変更について
  - ① 団体戦
    - ア 大会申込書提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合は、所定の変更届に必要な事項を記入の上、当該校の校長から理由書を添えて提出すること。
    - イ アによる変更届は大会開会式前日までに、当該県の委員長より提出すること。提出先は、大会事務局または大会受付とする。（組合せ抽選以降の変更は、プログラムの記載の変更はできない。）
    - ウ 試合当日は、登録選手の交替のみとし、体重順に編成替えをすること。
  - ② 個人戦
    - ア 大会申込書提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合は、所定の変更届に必要な事項を記入の上、当該校の校長から辞退届（様式は問わない）を各都道府県委員長に提出し、替わりの選手を当該都道府県の推薦により出場させることができる。
    - イ 委員長は組合せ抽選〔8月11日（土）〕までに、大会事務局に、登録選手変更届、辞退届のコピー、新しい申込書を提出すること。それ以後は受け付けない。
- (2) 大会期間中の負傷・疾病等については、応急手当のみ行う。また、本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。なお大会参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 個人戦出場者は、試合終了後、広島県立総合体育館大会議室にて、（公財）全日本柔道連盟主催の体力測定を受けること。
- (4) 同一校から個人戦のみに1名が出場するとき、又は2名出場するが体重区分が3段階以上（55kg級と73kg級以上など）の違いがあるときで、練習相手が必要な場合は、選手付添者を1名認める。ただし、試合会場や計量会場には入場できない（必ず指定のマークを柔道衣の左肩に縫いつけること）。
- (5) 練習会場、日時は次のとおりとする。

会 場	利用可能者	8月16日(木)	8月17日(金)	8月18日(土)	8月19日(日)	8月20日(月)
広島県立総合体育館 武道場Aゾーン	当日試合者	12:00~16:00	9:00~17:00	7:30~17:00	7:30~17:00	7:30~16:00
広島県立総合体育館 武道場Bゾーン	上記以外の 参加者	12:00~16:00	9:00~17:00	7:30~16:00	7:30~16:00	7:30~14:00 当日試合者も可

- ① 「広島県立総合体育館武道場」の使用は、選手・監督・コーチはIDカード、個人戦付添者は指定のマークが無いものは入場不可とする。
- ② 「広島県立総合体育館武道場」の使用は、あらかじめ受付を済ませ、入口でIDカードを提示すること。
- (6) IDカードを提示しない者は、試合会場への入場を一切認めない。  
※ IDカードを配布する範囲は、「選手・監督・コーチ」及び「視察員・見学者・来賓・大会役員・競技役員・審判員・生徒役員」とする。（なお、見学者は試合会場については見学者席のみに入場できる。）
- (7) 大会についての問合せは、必ず各都道府県委員長を通して申し出ること。それ以外は、一切受け付けない。
  - ① 組合せは、大会ホームページに掲載する。組合せに関しての問い合わせには一切応じない。
  - ② その他、必要事項については、監督会議において連絡する。なお、監督会議は代表監督（各都道府県4名）が出席するので、出席した監督は連絡を密に取り、内容の周知徹底を図ること。
- (8) 本大会では、大会運営に支障をきたすので、部旗・応援旗は掲示しないこと。
- (9) 大会期間中、健康上の理由等で監督の変更が必要とされる場合、各都道府県委員長を通して、文書にて大会事務局に申し出ること。

- (10) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
- (11) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④ 大会事務局及び（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

19 連絡先

- (1) 大会開催前【～8月15日（水）】

〒739-2612

広島県東広島市黒瀬町丸山82番地1（東広島市立黒瀬中学校内）  
平成30年度全国中学校体育大会広島県実行委員会柔道開催委員会事務局  
事務局長 佐伯 卓哉

TEL 事務局直通（080）4363-2650

E-mail: [zenchu2018@hi3.enjoy.ne.jp](mailto:zenchu2018@hi3.enjoy.ne.jp)

- (2) 大会期間中【8月16日（木）～8月20日（月）】

【昼】『広島県立総合体育館』 〒739-2612 広島市中区基町4番1号

TEL（082）228-1111 FAX（082）228-4992

【夜】『ホテルメルパルク広島』 〒730-0011 広島市中区基町6-36

TEL（082）502-1121 FAX（082）222-8501